

千葉県済生会習志野病院

2025年
春号

つながるならしの



－特集－

手術支援ロボット

ROSAを使用した人工膝関節置換術

整形外科 関節外科センター長 宮城 仁

－特集－

早期発見が鍵！膵がん

消化器内科医師 飯野 陽太郎

メディカルスタッフリレーコメント

【血液が赤いのはなぜ？青い血液をもつ生物もいる！？】

管理栄養士考案レシピ 季節のひと品

【手軽に野菜摂取♪春野菜のサンドイッチ】

連携医療機関ご紹介

【戸張クリニック】

【いばた眼科クリニック】

Information

【病院図書室・患者図書室のご紹介】

当院整形外科の特色

整形外科の診療は他のどの診療科より広範囲で、頸部から足先までの関節、筋肉、四肢の血管、皮下組織から脊椎、脊髄、末梢神経などの運動器が対象となり、年齢も新生児、小児から高齢者と幅広がります。そのため、各分野には専門的な知識や技量が求められます。

当院では2008年より関節外科センターおよび脊椎外科センターを併設しております。私は関節外科センターに所属し、主に成人の膝関節に対する専門的治療を行っています。

膝の痛みでお悩みの患者さんへ

近年、平均寿命は年々延伸していますが、残念ながら健康寿命（健康上の問題によって日常生活が制限されない時期）とは約10年の乖離^{かいり}があるとされており、この乖離期間をより短くすることが課題とされます。特に膝関節の変形が進行し痛みが生じると、歩行が困難になることが多く、初期は保存療法（薬や注射、リハビリ等）が優先されますが、数か月経過しても改善しない場合は手術療法が検討されます。特に実年期（65歳～）以降の患者さんには、除痛効果に優れていて早期の機能回復が期待される人工膝関節置換術＝TKA（Total Knee Arthroplasty）が推奨されます。当センターでは、2024年1月より正確で安定したTKA手術が可能となる最新の手術支援ロボット **ROSA（ロザ） Knee System** を導入しています。

ROSA Knee Systemの特徴

TKA手術成功の秘訣として、

- ① 正確な人工関節インプラントの設置
- ② 適切な下肢アライメント（＝骨の並びや向き）の獲得（O脚やX脚の矯正）
- ③ 患者さん一人ひとりに合わせた軟部組織（筋、腱、靱帯など）のバランス調整が重要とされます。

ROSA (RObotic SURgical Assistant)Knee System



6軸方向のロボットアーム



- ・骨切りの位置にロボットアームが誘導
- ・アーム先端のガイド越しに骨切りが可能
- ・0.5 mm、0.5°単位での調整

(図1)



ROSAを使用した手術の様子

これらは医師の経験や感覚に頼る面も大きいとされます。**ROSA Knee System**では、この「医師の感覚による部分」をロボットが正確にサポートしてくれます。長さでは0.5 mm、角度は0.5°単位での正確な骨切りで、先述した①と②が達成されます。また、術中に軟部組織のバランスも数値化されるため、適切な調整ができるようになり③が獲得されます。

ROSAシステムの構造

本体にはコンピューターが内蔵され、6軸方向に可動するロボットアームユニットと赤外線光学カメラを有するオプティカルユニットから成ります。（図1）

利点

従来の手術方法に比べ、膝の可動域が広がる、歩行の回復が早まるなどの可能性があります。さらに人工関節の耐久性向上が期待されています。

適応疾患

変形性膝関節症、膝骨壊死症、関節リウマチ等が挙げられます。

保険適応

2020年4月より **ROSA Knee System** でのTKA手術は保険適応となっています。

最後に

2025年4月現在、当院での **ROSA Knee System** によるTKA手術症例は100例を超え良好な術後経過を認めています。尚、この手術の適応に関しましては医師の診察が必要となりますので、お気軽に当院にお問合せ下さい。



ROSA手術について当院のホームページでも詳しく説明しております。
左記QRコードから、ぜひご参照下さい！



整形外科 関節外科センター長 宮城 仁
【外来担当】

整形外科 外来：金曜日9：00～11：30
膝外来：金曜日14：00～16：30

（整形外科外来予約）
月・水・金（祝祭日を除く）9:00～11:30
※予約制
※初診予約は紹介状をお持ちの方のみ
（予約センター直通047-473-1298）

消化器内科が担当する疾患の中でも、近年注目を浴びている病気の一つが膵がんです。皆さんは膵がんに対してどのような印象をお持ちでしょうか？「見つかりにくい」「進行が早い」といったイメージを持たれているかもしれません。確かに膵がんは怖い病気ですが、消化器内科ではより早く発見し、適切な治療につなげることを目指して診療を行っています。

膵がんについて

膵がんとは膵臓にできる悪性腫瘍のことです。多くは膵管という部分から発生して広がっていくので、「膵管がん」と呼ばれることもあります。日本では膵がんによって亡くなった方はここ30年で8倍以上にもなり、2023年の調査（人口動態統計がん死亡データ）では肺がんや大腸がんに続く第3位となっていることも近年注目を集めている大きな理由です。

一方で、膵がんの予後は徐々に改善されており、その鍵となるのが「早期発見」です。特に10mm以下のまだ小さい状態（stage0やstage I A）で見つけることができれば、大腸がんや胃がんと同等の予後が期待できます。早期発見のためには、後述する「健診」の重要性が高まっています。

膵がんはどんな症状？

典型的な症状は「おなかや背中痛み」「体重が減る」「顔が黄色くなる（黄疸）」「糖尿病」などです。しかし、これらは膵がんが進行した段階で現れることが多いこと、また、膵がん以外の病気でも見られる症状のため見逃されやすいという課題があります。



膵がんのリスク

「喫煙」や「肥満」、「過度の飲酒による慢性膵炎」、「糖尿病」、「家族歴（近親者に膵がんの方がいる）などが危険因子といわれています。さらに、膵臓に「のう胞」が見つかった方は膵がんになる確率が高いといわれています。リスクを複数持っている場合は、早期発見のために定期的に検査を行うことが望ましいです。

膵がんの診断

膵臓はからだの外から見るできないため、血液検査、腹部エコー検査、CT検査、MRI検査を通して、膵臓にがんが無いかを確認します。さらに10mm以下の膵がんを見つけるためにはCT検査やMRI検査のみでなくEUS（超音波内視鏡検査）という検査が重要となります。EUSは超音波画像装置を先端に取り付けた胃カメラです。口から内視鏡を挿入し、胃や十二指腸からすぐ隣の膵臓をくまなく観察することができ、腹部エコー検査やCT検査では見えない小さな膵がんを発見することができます。

膵臓にがんを疑う影が見えた場合は、EUS-TA（EUS guided-tissue acquisition＝超音波内視鏡下組織採取）という検査を行います。胃や十二指腸から内視鏡下で膵臓に針を刺し、腫瘍の一部を採取して診断を確定します。

当科では積極的にEUSを活用した膵がんの早期発見に取組み、患者さんに安心して適切な治療になるべく早く受けていただけるよう心がけています。

健診のススメとAPOA2-iTQ検査

膵がんを適切に恐れ、適切な診断と治療を受けることが重要です。しかし、膵がんは早期発見以外では依然として難治性のがんであるため、定期的に人間ドックで腹部エコー検査等を受けることが推奨されます。

2024年には、日本で新たな膵がん診断補助検査「APOA2-iTQ血液検査」が開発されました。これは従来の腫瘍マーカー（CA19-9）に次ぐ新しいバイオマーカーとして期待されています。

APOA2-iTQ 検査は、通常の血液検査で膵がんリスクを評価できると期待される検査です。すべての方に保険診療で実施できるというわけではありませんが、当院では地域に先駆けて健診のオプション検査として提供しています。ご興味がある方は、健診センター（直通：Tel 047-411-7316）までお声掛けください。

健診で気になる点や異常値を指摘された際は、消化器内科で説明と診療を行わせていただきますので、かかりつけの先生に当科受診をご相談ください。



消化器内科 いいの 陽太郎
飯野 陽太郎

外来担当日 金曜日

〈消化器内科外来予約〉

月～金（祝祭日を除く） 9:00～11:30

※予約制

※初診予約は紹介状をお持ちの方のみ
（予約センター直通047-473-1298）

血液が赤いのはなぜ？青い血液をもつ生物もいる！？

ヒトをはじめ多くの脊椎動物の血液には「ヘモグロビン」という色素タンパク質が含まれています。ヘモグロビンは鉄を含んでいて、酸素と結びつくことで鮮やかな赤色になります。この酸素と結びつく化学反応を「酸化」といい鉄錆（サビ）が赤いのも同じ原理です。肺で酸素を取り込んだ動脈血は明るい赤色、酸素を使い終えた静脈血は暗い赤色になります。このため血液は体内でも常に赤いのです。

生物の血液は赤い……いえいえ、すべての生物がそうではありません。カニやタコなど一部の無脊椎動物は、血液の中に「ヘモシアニン」という酸素運搬を担うタンパク質が含まれています。ヘモシアニンは銅を含んでおり、酸素と結びつくと青色になります。これも「酸化」であり、10円玉が青緑色に変色するのと同じ原理です。そのためヘモシアニンによって酸素を体内に運ぶ生物の血液は青いのです。

ヘモグロビンは酸素を大量に運搬できるので、哺乳類などの高エネルギー活動を行う生物に適しています。一方で、ヘモシアニンを持つ生物は冷たい海水の中でも効率よく酸素を運ぶことができます。

このように、それぞれの生息環境に適応し進化を遂げた結果、血液の色も酸素の運び方も生物によって実にさまざまな違いがあるのです。



臨床検査技師： 野中 陽香 林 朱里 大塚 雪乃

手軽に
野菜摂取♪

春野菜のサンドイッチ

管理栄養士考案レシピ《季節のひと品》

材 料（1人前）	
・食パン（8枚切）	2枚
・春キャベツ	80g
・春にんじん	50g
・スライスチーズ	1枚
・ツナ缶（水煮）	50g（約1缶）
・マヨネーズ	小さじ1
・ブラックペッパー	少々
・塩	少々
・マヨネーズ	小さじ1
・粒マスタード	小さじ1



作り方

- ①キャベツと人参は千切りにし、それぞれ塩を振り水気を絞る。
- ②ツナ缶は水気を切り、マヨネーズ小さじ1とブラックペッパーで味付する。
- ③食パンに混ぜ合わせた★を塗り、スライスチーズ、キャベツ、人参、ツナの順に重ね、もう1枚の食パンで挟む。
- ④ラップやペーパーで包み、5分程馴染ませたら半分に切る。



管理栄養士
白井美香

栄養価 エネルギー：411kcal蛋白質：21.3g脂質：15.8g食塩相当量：2.2g

冬の寒さに耐えて育った春野菜は、甘みとみずみずしさが増し、生でも美味しく食べられます。春野菜をたっぷり使ったサンドイッチは、1品で1食分の野菜（※）を摂取でき、ツナをプラスすることで蛋白質も補えるようにしました。ツナの代わりに卵やハムを加えるのもオススメです！お花見やピクニックなど、春の行楽のお供にいかがでしょうか。

※厚生労働省「健康日本21」では1日350g以上（1食120g）の野菜摂取を目標としています。

連携医療機関ご紹介

戸張クリニック

047-456-4777

〒274-0073 船橋市田喜野井7-3-13

URL : https://www.funa-med.com/search/detail.php?medical_id=000000116



内科・外科・消化器科
肛門科・皮膚科



戸張 雅晴 院長

高校時代の友人の影響で医学部を志し、弘前大学医学部に入学しました。卒業後は弘前大学病院で消化器外科を中心に研鑽を積み、その後津田沼中央総合病院に勤務。習志野市医師会員として地域の先生方とも交流を深め、2001年に津田沼駅に近い田喜野井地区に開業しました。現在は田喜野井、三山、薬台地区の患者さんが多いのですが、津田沼や谷津方面から来ている患者さんもおられます。

地域のみなさんの健康を守るため、風邪などの一般診療のほか、高血圧や糖尿病等の生活習慣病、市の健診、ワクチン、エコー検査なども行えるため、幅広く患者さんをサポートしています。今後も体調管理や健康相談など地域のみなさんの健康に寄与してまいります。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	●	●	●	-	●	●	-
15:00～18:30	●	-	-	-	▲	-	-

▲16:00～18:30

ACCESS

新京成バス 旭ヶ丘バス停下車 徒歩2分
駐車場有（4台）



いばた眼科クリニック

047-403-5445

〒275-0016 習志野市津田沼3-23-9 津田沼JSビル3階

URL : <https://ibataganka.crayonsite.net/>



眼科



井幡 紀子 院長

周囲に医師の方が多く、自分も一生続けられる仕事として興味があり医師を志しました。大学卒業後は、帝京大学医学部附属病院や静岡県立こども病院にて研鑽を積みました。その後、2002年に地元である津田沼で開業。眼科一般から小児眼科まで診察しています。

当院では一般的な検査のほか緑内障診断として全世界で広く利用されているハンフリー視野計や、覗いてもらうと、たった数秒で眼の奥をスキャン解析し、網膜の血管の状態を画像として写し出すことができるシラスHD-OCTという機械を導入しています。眼科は検査の科であり、より多く検査を行い、的確な診断を心がけています。今後は、弱視の子供がいなくなるよう早期の検査（3～6歳）を実施していきたいです。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30～11:30	●	●	●	-	●	●	-
15:00～17:30	●	●	●	-	●	-	-

ACCESS

総武線 津田沼駅 徒歩7分
新京成線 新津田沼駅 徒歩4分
京成線 京成津田沼駅 徒歩5分
契約駐車場有（新津田沼駐車場）
※旧イトーヨーカドー立体駐車場



より多く検査を行い、
的確な診断を心がけています

Information

病院図書室・患者図書室あおぞらのご案内

～信頼できる医療・健康情報をさがすために～



今日は病院の中にある2つの図書室をご紹介します。

「病院図書室」とは、医療法第22条で地域医療支援病院（千葉県済生会習志野病院は平成25年8月6日に承認されています）に設置が義務付けられた施設です。当院職員だけでなく、地域医療に携わる方々が最新の医学論文や情報に触れ、研鑽を積むための場所です。

「患者図書室あおぞら」は患者さんやご家族のための図書室です。8階の屋上庭園に面した明るい図書室で、2階にあるがん情報センターと連携し、信頼できる情報源やパンフレット等をご用意しています。小説、絵本やマンガ等もたくさん置いていますので、外来の待ち時間や入院中にご自由にご覧ください。(平日9:00～17:00開室)

当院の司書は司書資格と司書教諭資格、ヘルスサイエンス情報専門員（日本医学図書館協会認定）と情報学の学位を持ち、信頼できる情報を探すお手伝いをしていますので、お気軽にご相談ください。

インターネットやSNS等で信頼性の低い医療・健康情報が氾濫しており、フェイクニュースの氾濫＝パンデミックが社会的に問題になっています。次の機会には、信頼できる情報の探し方や見極め方についてお話しできればと思います。

(図書室司書 佐藤正恵)

図書室のご利用については
下記QRコードからご参照ください



saiseikai narashino hospital

病院の理念

患者さんに寄り添う医療を通して、地域住民の健康と福祉の増進に寄与します
基本方針

患者さんの権利と意思を尊重し、ともに考え良質で効率的な医療の提供に努めます
全ての職員はレベル向上のため研鑽し、最善のチーム医療を行います
地域医療機関との連携を深めて、中核病院としての役割を果たします



〈受診案内〉

診療受付時間（予約外） 8:30～11:30

(一部診療科によっては受付時間が異なります。予め電話にてご確認ください。)

休診日 土・日・祝（緊急の場合はご連絡ください）



社会福祉法人恩賜財団済生会
千葉県済生会習志野病院

〒275-8580 千葉県習志野市泉町1丁目1番1
Tel 047-473-1281（代表） Fax 047-478-6601
<http://www.chiba-saiseikai.com>